

(様式3)

令和3年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	安来市	公民館等の名称	宇波交流センター
事業の目的	宇波交流センターでは、ゆずを特産とした「ゆずの里うなみ」を地域の推進事業として取り組んできた。しかしながら、高齢化に伴い近い将来、栽培管理・活動ができなくなることが懸念され、今後の事業に主体的に参画する住民の人材育成と交流センターを核とした地域づくりのきっかけとする。		
事業の内容	<p>○ターゲットとする世代 30～50代（地区団体等の会長・自治会・女性の会等）</p> <p>○地域の状況やターゲットにした理由 高齢化が進む中山間地域の活性化を図るためには、5年後、10年後を見据えて地域の活動に関わる人を増やし、また継続して盛り上げられる人材を育成する必要があると考え、今回のターゲットにした。</p> <p>○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。</p> <p>①11月7日 10:00～12:00 宇波交流センター 参加者87名 宇波地区文化祭で活動や商品の紹介 地区内外の多くの方に特産品を知ってもらうためにPRした。</p> <p>②11月23日 10:00～12:00 ゆず農園 参加者15名 ゆずまつりに参加。ゆずの苗木定植 地域の子供にも参加してもらい、ゆずの収穫や苗木の定植を行った。 子供が参加することにより若い世代の参加もあり、幅広い年齢層の参加があった。</p>  <p>ゆず苗木の定植</p>  <p>ゆずの収穫</p>  <p>③11月27日 9:00～12:00 宇波交流センター ゆずジャム作り講習会 参加者17名 チラシを作成し地域内外に広く告知した。子供から若い世代の参加もあり、講師先生を招いてジャム作り講習会が開催できた。試食会も兼ねた意見交換会もあり、うな民クラブ会員と参加者で楽しい交流会となった。</p>  <p>ゆずジャム作り講習会</p>		



うな民クラブゆずジャム作り



試食を兼ねた意見交換会

④12月26日 9:30~11:00 宇波交流センター

うな民クラブ青空年末市 参加者52名

地域内外にチラシを新聞折り込みしたこともあり、地域外からも多くの来場者があった。昨年に続き2回目となる青空年末市は、うな民クラブはジャムや手作りこんにやくを中心に販売し、その他の出店で地元野菜やしめなわ、手作りパン等の販売もあった。

地域外からの出店もあり、この催しが定着してきている。



青空年末市

⑤1月18日 10:00~12:30 宇波交流センター 参加者10名

うな民クラブ、猫の手借り隊合同意見交換会

成果と課題  
今後の見通し

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

ゆずジャム作り講習会やゆずまつりでは、ターゲットとしていた30~50歳代や子供の参加があり、まずは楽しみながら参加してもらい興味をもってもらう良いきっかけ作りができた。5歳の子供から70歳代までの幅広い年齢層で住民同士、地域を話題とした意見交換もでき、今後の活動や地域活性化に向けて充実した交流会となった。

また文化祭や青空年末市では、地域内外の方にジャムや手作りこんにやくなどの特産品を広く知ってもらうことができ、口コミでも評判が広がっており、問い合わせも増えてきている。

今後は、猫の手借り隊の協力を得ながら、栽培、収穫、加工ができるようにしていきたい。そしてジャム作り講習会を定期的開催し、新規参加者を増やし、新しい意見も取り入れながらゆずジャム、ブルーベリージャム、手作りこんにやくの他にも新しい特産品の開発を目指していきたい。

また、その他の事業にも住民が主体的に参画し地域の活性化につながっていくよう多世代の交流の場を作り、交流センターを核とした地域づくりにつなげていきたい。